

指揮:小松 長生 ヴァイオリン:千住 真理子
 ミュンヘン・ゲルトナープラッツ州立劇場
 管弦楽団

ドイツ・ミュンヘンの名門が福井に。

幻のストラディヴァリウス
 「デュランティ」が奏でるメンデルスゾーン



Mariko Senju
 ©Koyotaka Saito (SCOPE)



Chaei KOMATSU

2026

5月6日

【開場】13:00 / 【開演】14:00

【水・振休】【会場】ハーモニーホールふくい 大ホール

料金

《S席》13,000円 《A席》11,000円

金席指定

《B席・バックシート・車いす席》8,000円



ドイツ音楽の神髄 〈曲目〉

- ワーグナー:
 楽劇「ニュルンベルクのマイスタージンガー」
 第1幕への前奏曲
- メンデルスゾーン:ヴァイオリン協奏曲 ホ短調
- ブラームス:交響曲第1番 ハ短調



Gärtnersplatz State Theater Orchestra

主催 = 福井テレビ 共催 = (公財)福井県文化振興事業団
 協力 = ガルガンチュア音楽祭実行委員会 後援 = 福井新聞社、FM福井

※観客前のお子様のご入場はご遠慮ください。
 ※上記の内容は変更される場合があります。ご了承ください。
 ※本公演チケットは、ハーモニーホールチケットセンターのみの取り扱いです。
 ※お申込みいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。

お問い合わせ 福井テレビコンテンツ事業部 TEL.0776-21-2235(平日9:30~17:30)

チケット発売日
 (電話・WEB)

2026. 3 7 [土]

WEB予約

電話予約

24時間受付
 発売日は
 10:00から受付



ハーモニーホールふくいチケットセンター
 TEL.0776-38-8282
 [10:00~17:00/休館日は除く]

Chosei



KOMATSU

【指揮】小松 長生

福井県生まれ。東京藝大附属音楽高校入学辞退後、東京大学文学部美学芸術学科、イーストマン音楽院大学院指揮科卒（音楽芸術学博士号）、エクソン国際指揮者コンクール優勝。パフアロー管エクソン派遣指揮者、ポルティモア響アソシエート、キッチナー・ウォータール交響楽団及びカナダ室内アンサンブル音楽監督、武生（たけふ）国際音楽祭音楽監督、リビウ国立歌劇場首席客演指揮者、東京フィルハーモニー交響楽団正指揮者、コスタリカ国立交響楽団芸術監督（現在同団桂冠指揮者）、セントラル愛知交響楽団音楽監督等を歴任。これまでにモントリオール響、ケルン放送響、ブラハ放送響、北ドイツフィル、ポリショイ劇場、キープ国立オペラ/バレエ、ソウルフィル、モスクワ放送響、ヴェネズエラ国立響、「東急ジルベスターコンサート」（マーラー復活最終楽章）、「題名のない音楽会」、「NHKBSプレミアム」、「NHKららクラシック」、TBS「砂の器」（千住明作曲、羽田健太郎/日本フィル）、ベルリン・フィルハーモニー創立50周年記念日独第九演奏会、トヨタ・レクサス用マーク・レビンソン搭載10周年記念CD（新日本フィルハーモニー）、釜山マル国際音楽祭などを指揮。2021年セントラル愛知交響楽団桂冠指揮者に就任。五嶋みどり・龍、堤剛、ヒラリー・ハーン、ラン・ラン、山下洋輔、小曾根真、ジェイムス・ゴールウェイ、レナート・ブルゾン、石井竜也、谷村新司、東儀秀樹らジャンルを超えたアーティスト達とのコラボレーションも注目を集めている。自作の「新福井県民歌」（三好達治作詞）を御前指揮。著書：「リーダーシップは『第九』に学ぶ」（日本経済新聞出版社）ほか。

【ヴァイオリン】千住 真理子 Mariko Senju(Vn)



© 窪口優規

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。バガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。これまでに多くのCDをリリース。最近では2023年11月に千住明のプロデュースによるアルバム「ARIAS」をリリース。また山田洋次監督作品「こんにちは、母さん」のサウンドトラックに参加。2024年にデビュー当時の音源も収録したアルバム「ベスト&レア」を、2025年はデビュー50周年を迎え「メンデルスゾーン&チャイコフスキー：ヴァイオリン協奏曲」をリリース。コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」（時事通信社、文藝春秋社文春文庫）母との共著「母と娘の協奏曲」（時事通信社）など多数。



◇ミュンヘン・ゲルトナーブラッツ州立劇場管弦楽団

ミュンヘン州立ゲルトナーブラッツ劇場は、「ミュンヘンに民衆劇場(Volkstheater)」という声が高まり、ノイシュヴァンシュタイン城やバイロイト祝祭劇場を造ったことで有名な、即位後間もない若き国王ルートヴィヒ2世によって1864年建設が認可され1865年11月オープン。現在ではバイエルン国立劇場と並んで二大オペラ劇場として市民に親しまれている。

ミュンヘン・ゲルトナーブラッツ州立劇場管弦楽団は、音楽劇の多様性を示すために、オーケストラのレパートリーはバロックから現代作品まで幅広く、オペラ、オペレッタ、ミュージカル、バレエなど音楽劇のすべてのジャンルをカバーしている。

2003年にAオーケストラのランクに昇格し、77名の楽団員で構成されており、定期公演を行っている。さらに、2000年以来、楽団員による室内楽シリーズを企画、ドイツ各地の都市のみならず、メキシコや中国など海外にも招聘されている。

また同オーケストラは、設立以来、著名な指揮者や音楽家とのコラボレーションを特色としている。カール・ミリオッカーやフランツ・レハールなどの作曲家たちが自作品を指揮した歴史をもち、マルコ・コミン、アンソニー・ブラモールなどの首席指揮者が名を連ねており、2023/2024シーズンからは、ルーベン・ドゥブロフスキーが楽団を率いている。

Gärtnersplatz State Theater Orchestra

JR・ハピラインをご利用の場合 福井駅から福井鉄道 福武線に乗り換え、もしくは福井駅・鯖江駅からタクシーで15分。

お車でお越しの場合

公演当日は、駐車場の混雑が予想され、駐車に時間がかかる場合がございます。開演後は連行の都合上、ご入場をお待ちいただく場合がございます。予めご了承ください。



公演の空席状況をご覧いただけます。インターネットでのチケット購入も可能です。https://www.hhf.jp/

〒918-8152 福井市今市町 40-1-1 福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」

